

平成29年9月11日

洞爺湖町議会平成29年9月会議
教 育 長 行 政 報 告

番 号 件 名

- 1 寄附について
- 2 学校環境整備について
- 3 世界文化遺産候補の審査結果について
- 4 各種事務事業の取組状況について

1 寄附について

このたび、次の方より寄附の申し出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

食材の寄附（洞爺湖町学校給食センターへ）

虻田郡洞爺湖町洞爺町151番地

塩田 満 氏

とうきび（ピュアホワイト） 240本

2 学校環境整備について

このたび、次の事業所から学校環境整備の申し出があり、実施していただきました。

虻田郡洞爺湖町高砂町32番地12

矢野たたみ店 矢野 辰典 氏

学校環境整備の箇所及び内容

整備箇所 虻田小学校及び虻田中学校

整備内容 和室、教室等の畳の更新（合計35.5畳）

3 世界文化遺産候補の審査結果について

洞爺湖町の入江・高砂貝塚を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」は世界文化遺産登録を目指していますが、平成29年7月31日に文化庁の文化審議会特別委員会が開催され、今年度の国連教育科学文化機関（ユネスコ）に推薦する文化遺産候補には「百舌鳥・古市古墳群（大阪府）」が選定されました。

今年度、審査対象となったのは「北海道・北東北の縄文遺跡群」、「金を中心とする佐渡鉾山の遺跡群」、「百舌鳥・古市古墳群」の3件で、「北海道・北東北の縄文遺跡群」については推薦見送りとなったところです。

今回の決定は、たいへん残念な結果ではありますが、来年度の推薦を目指して活動を継続し、登録に向けて取り組んでまいります。

4 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告します。

(1) 箱根町との中学生親善訪問交流について

箱根町との中学生相互親善訪問交流事業は、洞爺湖町使節団が7月27日から3日間、箱根町を訪問し、箱根町使節団が8月1日から3日間、当町を訪れて行われました。

洞爺湖町使節団8名（団長：大年智二洞爺中学校長）は、箱根中学校を訪問し、山口箱根町長に洞爺湖町長のメッセージを伝達しました。また、箱根町使節団と交流

し、箱根関所、大涌谷など多くの史跡等を見学し、箱根の歴史・文化を学ぶことができました。

箱根町使節団8名（団長：平塚 広箱根中学校長）は、洞爺湖町役場で箱根町長メッセージを伝達し、洞爺中学校では当町使節団をはじめ同校生徒と一緒に、両町に関するクイズやバレーボールなどを通して交流を図ったところです。また、洞爺湖でのカヌー体験、入江・高砂貝塚館、火山科学館見学や西山火口散策などを通して当町の歴史、自然などを学ぶとともに、いぶり噴火湾漁業協同組合、とうや湖農業協同組合の協力をいただいて、ホタテ貝の養殖状況や雪蔵倉庫も見学し、洞爺湖町の産業の一端にも触れていただきました。

両町の使節団は、6日間ですっかり打ち解け、友好の絆を深めた交流となりました。

(2) 中学生避難所開設体験学習会の開催について

今回で4回目となる町内中学2年生を対象とした避難所開設体験学習会を、8月4日に虻田小学校体育館で開催しました。

当日は夏休み中にもかかわらず34名が参加しました。洞爺湖有珠火山マイスターの荒町美紀氏から、「2000年噴火の避難所体験」の講話をいただいた後、避難者役6班と役場職員役1班に分かれ、ロールマットを使っでの居住スペース設営やダンボールベットの組み立てをはじめ簡易テーブル作り、さらには避難者名簿づくりなど、様々な体験をしました。

また、避難所運営を模擬体験するゲーム「HUG（ハグ）」も行い、グループごとに討議しながら真剣に取り組んでいました。

生徒たちは、学習会を通じて、避難所生活がいかに大変であるのか、さらには、ともに考え、協力し合うことの大切さなど短い時間のなかで多くのことを学び取っていました。

有珠山を有する当町における防災学習の重要性に鑑み、今後も継続して実施してまいります。